

はぎのだい



学校だより冬休み号

平成28年12月22日(木)
津幡町立萩野台小学校 校長 合田 洋子

本日で2学期も終わります。2学期は1年で1番長い学期で、77日間ありました。この間、62名の子ども達は大きな怪我もなく、心も体もすこやかに学校生活を送ることができました。明日から冬休みです。2学期の学習面や生活面をしっかりとふり返らせ、3学期に向けた準備をする冬休みであってほしいと願っています。

◎書き初め展のお知らせ

期間 1月11日(水)～13日(金) 午前8時10分～午後5時まで(13日は午後1時)
場所 各学年の教室前の廊下

◎季節の飾りつけ

展示コーナーの窓や職員玄関の下駄箱の上が、季節に合った作品で飾りつけがされています。

校務員の澤田順子さんの作品です。

一度ゆっくりとご覧ください。



「しつけの三原則」 第2回

- 1 朝、「おはようございます」と明るくあいさつをします。
- 2 呼ばれたら、「ハイ」と返事をします。
- 3 はきものをきちんとそろえます。

今回は「あいさつ」と「ハイ」についてです。

1 朝、「おはようございます」と明るくあいさつをします

「あいさつ」は人間関係の潤滑油のようなものです。普段よくあいさつをする人でも、腹のたっている時や嫌な人には、なかなか気安くあいさつをできないものです。つまり、相手に対して素直でないと、なかなかあいさつはできないものです。あいさつができるというのは、相手を尊重する心があるからです。「笑う門には福来たる」といいますが、あいさつする門にも福がきます。

また、あいさつには、「おはよう」の他、「いただきます」「ごちそうさま」「行ってきます(行ってらっしゃい)」「ただいま」「ありがとう」「すみません」「失礼します」「こんにちは」「さようなら」「どうぞ」「どうも」「お願いします」などがあります。なかでも、「ありがとう」は感謝の表現として大切です。家を出る時、「行ってきます」と言って出て行く子は、黙ったまま出て行く子どもよりも、外で事故に遭う確率が少ないそうです。出て行く時の心構えの違いでしょうか。

萩野台小学校 学校教育活動に関するアンケート結果について

12月に実施しました保護者アンケートの結果を掲載します。この結果と児童、教職員のアンケートの結果を合わせて分析し、2月上旬に行われる「学校関係者評価委員会」でご意見をいただきます。また、太文字の項目(1, 2, 4, 7, 8)については詳しく分析し対策を検討してご報告します。

平成28年度 保護者による学校教育活動等に関するアンケート結果 12月実施 集計数 62名(のべ)

項目	内容	H27,6月	H27,12月	H28,7月	H28,12月
1	お子さんは、学校が楽しいと言っている。	91.8%	95.0%	93.5%	90.2%
2	お子さんは、授業が楽しく分かりやすいと言っている。	96.6%	89.6%	98.3%	90.2%
4	お子さんは、授業で自分の考え等を進んで表現している。	72.9%	79.0%	86.2%	81.7%
6	お子さんは、家できちんとあいさつをしている。	90.2%	80.3%	85.0%	88.1%
7	お子さんは、早寝・早起き・朝ご飯、歯みがきの習慣が身についている。	84.7%	77.1%	83.6%	78.7%
8	お子さんは正しい言葉づかいや思いやりのある言葉づかいをしている。	81.0%	60.6%	78.0%	65.5%
9	先生は、しめのない温かい学級を作ろうとしている。	96.5%	98.3%	100%	100%
10	先生は、活発な児童活動で仲良く協力する態度を育てようとしている。	100%	100%	98.3%	100%
11	先生は、子どものまちがった言動をきちんと指導している。	100%	96.5%	100%	98.3%
12	先生は、子どもの話を良く聞き、よいところを見つけてほめてくれる。	98.3%	96.6%	100%	100%
13	先生は、保護者の相談等に丁寧に対応している。	96.6%	96.7%	98.2%	100%
14	学校は、火事や地震・不審者対応などの訓練を適切に行っている。	96.3%	98.2%	100%	100%
15	学校は、たよりやHPで学校の様子などを分かりやすく伝えている。	96.8%	100%	100%	96.7%

